

平成 26 年度 第 2 回理事会抄録

日時：平成 26 年 5 月 17 日（土）9：00～13：42

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根（副会長）、荻原、香山、苅山、小林正、陣内、三澤（常務理事）、
宇田、大庭、小川、小林毅、高島、谷、藤井、宮口（理事）、古川、長尾（監事）

理事会の求めによる出席：佐藤（委員長）、富岡（WFOT 代表）、岡本（財務担当）、岩佐
（都道府県士会連絡協議会会長）

I 報告事項

1. 平成 26 年度定時社員総会への対応及び議長の紹介（佐藤総会議事運営委員長）定時社員総会の当日のスケジュール等の詳細を説明。今年度の議長、長倉寿子氏の紹介。
2. 平成 25 年度事業評価結果の確認及び社員総会での報告について（荻原事務局長）各部署から提出された事業評価結果について、来週月曜日までに最終確認をし、修正等があれば表に記載する。事業評価は社員総会で報告をする。
3. 平成 26 年度士会システム新規士会募集について（荻原事務局長）平成 25 年 12 月に未導入士会宛てに募集案内をした結果、栃木県作業療法士会より申込みがあった。38 士会が導入、未接続士会は 9 士会である。
4. 国土強靱化基本計画の来年度予算づくりに向けた協会提案について（中村会長）レジリエンスリーダー養成に向けて、JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）のリーダー養成をセットにし、JRAT の中の 1 つの事業として取り組み、予算請求もこの中に入れられるように厚労省に提案した。
5. 「2025 年からの作業療法を目指したグランドデザイン（ドラフト案 2）」について（中村会長）グランドデザイン部会に作業療法士の案として提出するため、ガイドライン実践指針を下地に項目をまとめた。5 月末までに意見をいただきたい。これに対し、グランドデザインには教育の視点も必要、作業療法士のポリシーを言う必要がある等、その他多くの意見が出された。
6. 介護給付分科会への対応について（中村会長）介護給付費分科会で関連団体にヒヤリングを行う。作業療法士協会は 7 月の予定である。認知症初期集中支援チーム、生活行為向上マネジメント、制度対策部に協会の提案内容の取りまとめを依頼。

7. 平成 26 年度診療報酬改定の要点（高島制度対策副部長）会員に向けた診療報酬改定の研修会の資料を補足したものが示された。内容については特になし。（荏山制度対策副部長）精神科は大きな改定はなかった。

8. 渉外活動報告

荏山理事：リハビリテーション医療関連団体協議会に出席。

三澤理事：発達障害の支援を考える議員連盟の会合に参加。

中村会長：作業療法士の名称使用の実現に向け、チーム医療推進協議会長とともに医事課に要望書を提出した。

9. 第 16 回 WFOT 大会の準備状況について（山根 WFOT 大会実行委員長）参加登録者数は 4,613 名である。現在残っている 20 ブースを協会で買い取り、活動報告等のできる協会企画を検討している。

10. 日本作業療法士連盟報告（谷連盟担当理事）WFOT 大会でも連盟のブースを出展する。広報活動、リハ議連との提携、財政改善対策について検討中。

11. 訪問リハビリテーション財団報告（谷財団担当理事）気仙沼の新規訪問リハビリステーションの事業所の設置場所が決定した。

II. 審議事項

1. 「協会役員の常勤化」に関する会員意見公募の結果と意見への対応について（荏原事務局長）5 月 16 日までに 3 件の意見が寄せられ、意見に対する回答案について審議された。公募結果の提示方法はホームページ上とする。 →承認

2. 「47 都道府県委員会（仮称）」設置に向けた準備委員会（特設委員会）立ち上げについて（宇田士会組織担当理事）協会が一般社団法人に移行した際に、都道府県作業療法士会や都道府県士会連絡協議会が定款等に表記できなくなったため、新しい体制を構築する必要が生じた。「47 都道府県委員会（仮称）」の設置に向けた準備委員会を立ち上げるための具体的な設置案を説明。 →承認

3. 日本学術振興会「育志賞」候補者の推薦について（荏原事務局長）作業療法に関連する大学院の博士課程を持っている大学に推薦を依頼し 3 名の推薦があった。三役で検討した結果、1 名を決定し、協会長名で推薦する。 →承認

4. 作業療法学会に関する「規程」「手引き」「組織図」「業務日程」及び「演題採択審査基準」について（小林正学術部長）学会の運営に関しては第 50 回大会より協会が主導して行

うことが決定しているが、運営を円滑にするために「規程」等が新たに作成され、提案された。これに対し、①「都道府県連絡協議会」「支部」「ブロック」等の記載を修正する、②副学会長は1名を選出する、③開催地の会員に負担をかけずに学術運営委員会が中心に行うこと等が承認されたが、具体的な「規程」「手引き」等に関しては継続審議となる。 → 継続審議

5. 第51回学会の会場と日程及び学会運営業者選定について（小林正学術部長）会場を東京フォーラムとし、日程は9月第4週の日曜日を最終日とする（2017年9月22日～9月24日）。また、運営業者への委託期間は明確に設定せず、必要が生じた場合に変更することが提案された。 →承認

6. 制度対策部からの追加研修会の開催について（三澤制度対策副部長）作業療法重点課題研修として、追加の研修の予算と内容が示され、承認された。また、がんリハ研修会の参加費15,000円の設定が承認された。 →承認

7. 会員の入退会について（荻原事務局長）会費未納による会員資格喪失後の入会希望者が12名。処理が終了している。死亡退会が1名。 →承認

以上